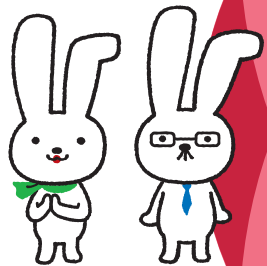
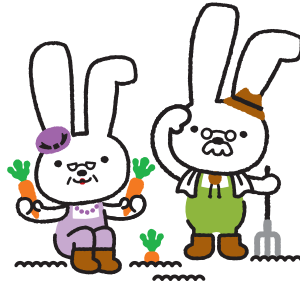


# AKITA BANK

中間期 ディスクロージャー誌  
〈情報編〉

# REPORT 2019



未来へ  
無限大の

地域の皆様と  
つむぐ

〈特集①〉 あきぎんSDGs宣言

〈特集②〉 創業140周年記念事業

●トップメッセージ ●2019 あきぎんトピックス ●業績ハイライト

140<sup>th</sup> 想いをつむぐ。  
未来へつなぐ。

 秋田銀行

# 「価値共創～Grow with Our Co

## TOP MESSAGE



取締役頭取

新谷 明弘

Akihiro Araya

皆さまには、平素より秋田銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当行に対するご理解を一層深めていただくため、「AKITA BANK REPORT」を作成いたしました。本誌では、当行の地域やお客様向けの取組み、最近の業績などについてご紹介しております。ご高覧のうえ、ご参考にいただければ幸いです。

金融機関を取り巻く環境は、大規模な金融緩和の継続や異業種による金融分野への参入により、大きな変革期を迎えております。秋田県においても、人口減少にともなう生産年齢人口の減少や雇用の確保は深刻な地域課題となっており、後継者不足による事業承継などの課題を抱える企業も増加してきております。

こうした環境下において、今年度より新たに中期経営計画「価値共創～Grow with Our

### 目次

- | 01 ◎トップメッセージ
- | 03 ◎特集① あきぎんSDGs宣言
- | 07 ◎特集② 創業140周年記念事業

# Community～」の実現に向けて

Community～」をスタートさせました。「地域経済の質を高めるとともに、住みよい地域社会を創造し、成長し続ける銀行」を中長期的に目指す姿に位置づけ、「地域経済の成長・地域課題の解決」ならびに「地域および当行の持続可能性の向上」を両立する事業ポートフォリオへの改革をテーマに掲げております。

本中期経営計画では、特に「事業承継、M&Aニーズへの対応」および「起業・創業者の増加」を重点的な課題とし、具体的な達成目標を設定しております。事業承継やM&Aニーズへの対応につきましては、専門部署として本部に「事業承継支援室」を設置し、専門資格「M&Aシニアエキスパート」資格保有者を県内全域の営業店へ配置いたしました。また、起業・創業支援の取組みとして、創業支援プラットフォーム「〈あきぎん〉STARTUP Lab」において、起業者の発掘・育成

から事業拡大までを一貫して支援する体制を構築しております。今後も、地域企業や産業の抱える課題に対応し、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

当行は明治12年に開業し、今年で創業140周年を迎えました。これもひとえに、地域の皆さまのご支援の賜物であり、心から感謝申し上げます。引き続き、地域金融機関として地域の課題に向き合い、地域と当行の「価値共創」に向けて、全役職員一丸となって全力を尽くしてまいります。皆さまには一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 09 ◎2019 あきぎんトピックス

## 11 ◎業績ハイライト 収益性・健全性／貸出等資産の健全性／預金・預り資産の状況／貸出金の状況

## あきぎんSDGs宣言

AKITA BANK REPORT

2019年10月23日、「あきぎんSDGs宣言」を制定いたしました。  
国連が提唱するSDGsの達成に向けた当行の取組方針をご紹介します。

## SDGsとは？

「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までの国際目標です。「地球上の誰一人として取り残さない」(leave no one behind)ことを目指し、持続可能な世界を実現するための17の目標・169のターゲットから構成されています。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



「あきぎんSDGs宣言」の策定にあたって、秋田県が抱える課題をE(Environment:環境)、S(Social:社会)、G(Governance:ガバナンス)の観点から整理しました。

そのうえで、秋田銀行が地域金融機関として取り組むべきこと・できることとして10項目にまとめ、取組方針を策定しました。

## 地域が抱える課題

### E:環境

- 気候変動対策
- 循環型社会

### S:社会

- 人口減少の加速
- 少子化、高齢化
- 生産年齢人口の減少
- 後継者、働き手不足
- 地域マーケットの縮小

### G:ガバナンス

- コーポレートガバナンス
- リスク管理態勢
- 社会的責任への取組み(コンプライアンス)



## 秋田銀行が 取り組むべきこと・できること

- 循環型社会
- 起業・創業・事業承継
- 地域振興
- “長活き”
- リスクマネジメント
- 環境保全
- 企業価値向上
- 資産形成
- ダイバーシティ
- 経営管理

## 「あきぎんSDGs宣言」

秋田銀行グループは、経営理念である「地域共栄」(地域とともに歩み、地域の発展とともに栄える)に基づき、国連が提唱する持続可能な開発目標「SDGs」の趣旨に賛同し、「地域経済の質の向上」と「住みよい地域社会の創造」の実現を目指してまいります。

## 取組方針

### ■ 地域経済の発展

お客さまへの深い理解に基づき、事業承継や起業・創業にかかる支援などを通じて、地域経済の質の向上に取り組むとともに、地域のお客さまの安定した資産形成をお手伝いします。

### ■ 地域環境の保全

地域における省エネルギー化の促進、環境保全活動を通じて、持続可能な環境づくりに取り組みます。

### ■ すべての人の活躍推進

すべての人が誇りをもって、自分らしく活躍しつづけられる職場づくりに取り組みます。また、「あきぎんエイジフレンドリーバンク宣言」で提唱する「長活き」の浸透拡大により、歳を重ねてなお活躍し続ける社会の実現を目指します。

### ■ 健全経営の実践

地域の持続可能性の向上に継続して貢献していくため、健全経営の実践に努めます。

# 当行のSDGsに関する取組み

取組方針	主な取組み	関連するSDGsのゴール
<p>■ 地域経済の発展</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● STARTUP Lab(創業支援)</li> <li>● 専門アドバイザーの活用</li> <li>● あきた未来塾</li> <li>● A-WIND ENERGY設立</li> <li>● 安定した資産形成支援</li> </ul>	
<p>■ 地域環境の保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● あきた省エネプラットフォーム</li> <li>● あきぎんアプリ・通帳レス</li> <li>● 環境配慮型店舗</li> <li>● あきぎんの森</li> <li>● 農業・植樹体験イベント</li> </ul>	
<p>■ すべての人の活躍推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● あきぎん長生き学校</li> <li>● 株式会社ALL-A設立</li> <li>● 健康経営</li> <li>● 女性活躍推進プログラム</li> <li>● バスケットボールクリニック</li> </ul>	
<p>■ 健全経営の実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サイバーセキュリティ対策の強化</li> <li>● リスク管理態勢の強化</li> <li>● マネロン・テロ資金供与対策の強化</li> <li>● コーポレートガバナンスの強化</li> <li>● 反社会的勢力等への対応強化</li> </ul>	

特徴的な取組みをピックアップしてご紹介します。

## 創業支援プラットフォーム「STARTUP Lab」

- ◆ 当行支援による開業事業所数 34件（2019年度上半期実績）
- ◆ ビジネスコンテスト応募者数 54件（2017、2018年実績）

中期経営計画では、起業・創業の増加・促進に重点的に取り組んでおり、起業・創業数の増加200先を達成目標に設定しています。

創業支援プラットフォーム「〈あきぎん〉STARTUP Lab」では、起業・第二創業を目指す事業者の方を対象に、「事業創造ワークショップ」や「ビジネスコンテスト」の開催を通じて、事業創出を促進、事業の安定稼働および拡大を支援しています。



大仙市事業創造ワークショップの様子

## あきた未来塾

- ◆ 卒業生 100名

秋田県経済の振興・発展に寄与する人材の育成を目的に、若手経営者および後継者を対象とした経営塾です。2011年の開講以来、8期100名が卒業、現在9期生として13名が入塾しています。

また、国際教養大学アジア地域連携研究機構内に、「AIUデザインLAB」を設置しました。学生と未来塾塾生企業がタッグを組み、それぞれの視点から課題解決策を考え、「よりよい秋田をデザインする」活動を行っています。学生が県内企業に直接関わる研究・実践の場を創出することで、新たな価値の創造を目指します。



AIUデザインLABの様子

## あきぎん長生き学校

- ◆ 授業・イベント開催数 49回
- ◆ 延べ参加者 4,000名以上

長生き学校   
長活きの秘訣を、学びあう。

「日本一の高齢化県」から「日本一の長生き県」を目指し、「長活きの秘訣を、学びあう。」をコンセプトに、あきぎん長生き学校を運営しています。

開校4年目となる2019年度は「セカンドライフの準備は、長生き学校ではじめる。」をテーマに、孫育てや終活に関する授業を開催しました。また、初めての試みとして「学園祭」を開催、長生き学校学生による趣味・特技を披露するブース展示を行いました。

シニア世代の継続的な社会参加を支援することで、「長生き」を推進してまいります。



はじめての終活講座  
お仏壇とエンディングノート

長生き学校



男鹿の現役ママに学ぶ  
孫育ての秘訣

長生き学校

## 創業140周年記念事業

AKITA BANK REPORT

当行は、明治12年に開業し今年で創業140周年を迎えました。  
皆さまのあたたかいご支援に心より感謝申し上げます。

140<sup>th</sup>

想いをつむぐ。未来へつなぐ。

コンセプト:「想いをつむぐ。未来へつなぐ。」

当行は、地域に対する皆様の想いをつむぎ、  
ふるさと秋田を未来に受け継いでいくとともに、  
お客様の想いに応え、ともに未来をつくるパートナーです。

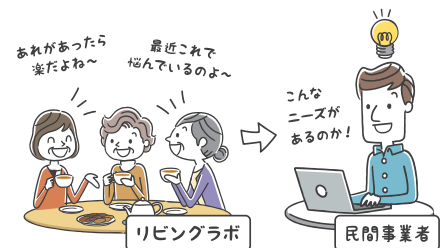
## 高齢化への対応

民間事業者と高齢者の  
の方々によって新たな価値を  
共創する「リビングラボ」の  
運営会社として、株式会社  
秋田ケーブルテレビおよび  
株式会社秋田魁新報社とと  
もに、「株式会社ALL-A」  
を設立しました。

## ALL-Aの概念

- ▶ 高齢者の社会参加の仕組み・環境を提供  
(エイジレス社会の実現)
- ▶ 健康寿命延伸、フレイル対策、認知症対策を支援  
(コミュニティの維持)
- ▶ イノベーションによる新たな高齢社会対策  
(産業振興への貢献)

エイジフレンドリー リビングラボ アキタ  
名称 Agefriendly LivingLab AKITA  
通称 「ALL-A(オール・エー)」



「リビングラボ」とは、民間事業者の新商品開発  
や新たな技術開発の工程に、消費者である住民  
に参画していただく拠点のことです。

## 地域課題の解決

秋田県の地域課題である「少子化(育児)」「高齢化」「医療・福祉」の分野に取り組む団体に対して寄付を行いました。  
ふるさと秋田の未来に向けて、地域の皆さまとともに取り組んでまいります。

## ■ 少子化(育児)分野



合同会社CHERISH 代表 加藤 未希 様

## ■ 高齢化分野



西仙北スポーツクラブ 会長 今野 幸宏 様

## ■ 医療・福祉分野



NPO法人にこっと秋田 代表理事 八代 美千子 様



## スポーツによる地域貢献

RED ARROWS  
AKITA BANK

女子バスケットボール部にチーム名「秋田銀行 RED ARROWS(レッドアローズ)」を命名しました。選手、スタッフを一本の矢と見立て、結束して相手を力強く打ち破っていくイメージを表現しました。地域の皆さまに親しんでいただけるチームを目指します。

台湾女子バスケットボールのトップリーグ(通称WSBL)に所属する強豪チーム、<sup>こくたいじんじゅ</sup>國泰人壽女子バスケットボール部(Cathay Tigers)を迎え交流試合を開催、当日は1,300名の方が観戦しました。あわせて開催したバスケットボールクリニックには、県内中学校6校より54名にご参加いただきました。



バスケットボールクリニック

國泰人壽との交流試合

## 環境保全

潟上市「秋田グリーンサムの杜」にて農業・植樹体験イベントを開催しました。地域の森林資源を活用し、子どもたちの環境保全・自然共生に対する学びの場を提供しました。



田植え体験



植樹体験

## 次世代への継承



「秋田銀行スペシャル ふるさと秋田再発見シリーズ 秋田人物伝」DVDを制作し、県内の小中学校において教育資料として活用いただきたく贈呈しました。秋田が生んだ偉人たちの功績を歴史や文化とともに振り返り、ふるさと秋田への理解を深めていただく作品となっております。

## 【今後の周年事業予定】

秋田銀行140年の歴史を後世に伝えるために、明治から昭和(戦前)にかけての当行の通帳・パンフレット・記念品・写真など関連する資料の収集を行っております。お持ちでしたら、ぜひお近くの窓口へ情報をお寄せください。

# 2019

# AKITA BANK TOPICS

 あきぎんトピックス

4月

## 「あきぎんアプリ」の家計簿機能追加 および「通帳レス口座」の取扱開始

「あきぎんアプリ」に新たな機能として家計簿機能を追加しました。銀行口座、クレジットカード、電子マネーなどの情報が一括して管理できるようになるほか、当行口座の入出金明細をダウンロードいただけます。また、本アプリを通帳代わりにご利用いただくことで、通帳を発行しない「通帳レス口座」の取扱いを開始しました。窓口やATMでの通帳記帳の手間が省けるほか、通帳の紛失・盗難等の心配がなく安心してご利用いただけます。



**残高・明細照会・明細エクスポート**  
最大5口座(普通預金・貯蓄預金・カードローン)の残高・入出金明細の確認やPDF・CSVファイルとして端末に保存ができます。

**インターネットバンキング**  
振込・振替等のお手続きができます。

**お知らせ**  
商品・サービスに関するキャンペーンやお得な情報をお知らせいたします。

**まとめて資産管理 Money Forward**  
複数の銀行口座・クレジットカード・電子マネー・ポイントサービス等と連携して資産を一括管理できます。

**ローンWeb申込み**  
銀行窓口に来店することなく個人ローンの申込みができます。

**店舗・ATM検索**  
現在地情報・フリーワード等を活用した検索が可能です。



## 「旭川支店」の移転

「旭川支店」を朝日生命旭川ビルの9階に移転し、営業を開始しました。移転後も、お客さまにご満足いただけるよう幅広いニーズにお応えし、これまで以上にきめ細やかなサービスの提供に努めてまいります。



旭川支店



6月

## M&A業務にかかる県内信用金庫・信用組合との連携協定の締結

秋田信用金庫、羽後信用金庫および秋田県信用組合とM&A業務にかかる連携協定を締結いたしました。県内金融機関の連携により、企業が持つ技術やノウハウを次世代へ円滑に承継するとともに、事業活動の活性化および雇用の維持に向けて、取り組んでおります。



秋田銀行、秋田信用金庫、羽後信用金庫、秋田県信用組合  
M&A業務にかかる連携協定締結式

M&A業務にかかる連携協定締結式

7月

## 「本荘支店」の建替えおよび 「岩城町支店」の移転

「本荘支店」を建替えるとともに、「岩城町支店」をブランチインブランチ方式(1つの店舗で複数の営業店が営業を行う方式)により新店舗へ移転し、営業を開始しました。店内は開放感のあるロビースペースとしているほか、個別ブースを設置し資産運用やローンなど、お客さまの様々なライフプランの設計をより快適にご相談いただけるつくりとしております。



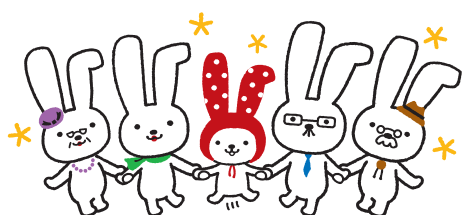
ロビーの様子

## 窓口での「印鑑レス取引」の取扱開始

全営業店において「印鑑レス取引」の取扱いを開始いたしました。店頭での預金のお引き出しや残高証明書の発行などの各種お申込みに関して、伝票あるいは申込書への押印を不要とし、代わりにATMと同様に「キャッシュカード+暗証番号入力(または生体認証)」によりお取引いただけます。

## 生命保険商品の タブレット端末による申込受付開始

お客さまの利便性向上と業務効率化を目的として、タブレット端末を利用した生命保険商品の申込受付サービスを開始しました。お申込みをタブレットで受付し、電子サインで署名をいただくことで「ペーパーレス・印鑑レス」の契約手続きが可能となり、お客さまのご負担が大幅に軽減されます。



8月

## 「〈あきぎん〉事業承継・M&Aセミナー」の開催

「親族外承継」をテーマとした「〈あきぎん〉事業承継・M&Aセミナー」を開催しました。本セミナーでは、従業員や第三者への承継を進めるうえでの事前準備や留意点について、事業承継・M&Aの専門家より実例を交えて解説いただきました。また、講演後には個別相談会を実施しました。



9月

## 株式会社SBI証券との 市場誘導業務に関する業務提携

お客さまの株式上場を支援する市場誘導業務<sup>(注)</sup>につきまして、新たに株式会社SBI証券と業務提携いたしました。お客さまの多様な資金ニーズに対応するソリューションビジネスの一環として、取り組んでおります。

(注) 市場誘導業務

銀行がお客さまに対し、株式公開等についてのアドバイスを行う業務、または、株式公開や資金調達等のニーズのあるお客さまを証券会社に紹介する業務

## コア業務純益(※)…31億円

コア業務純益は、経費は増加したものの資金利益、役務取引等利益が増加したことにより、前年同期比1億円増加し、**31億円**となりました。

用語解説

### 【コア業務純益】

銀行本来の業務(預金、貸出、為替、有価証券など)から得られた利益である「業務純益」から、期ごとに特殊な要因で大きく変動する「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券関係損益」を除いたもので、「銀行の基本的な利益」を示します。

## 経常利益…28億円 中間純利益…17億円

経常利益は、株式等関係損益は好転したものの、国債等債券損益の悪化、与信関係費用の増加により、前年同期比2億円減少の**28億円**となり、中間純利益は5億円減少の**17億円**となりました。

## 自己資本比率(※)(単体)…11.30%

自己資本比率は、有価証券の減少を主因としたリスク・アセット減少および利益の積上げによる自己資本増加により、前期末比0.29ポイント上昇し**11.30%**となりました。

従来に引き続き国内基準行に求められる4%を大きく上回っております。

用語解説

### 【自己資本比率】

貸出金などの資産(リスク・アセット)に対する自己資本の割合で、銀行の健全性を示す指標のひとつです。海外に営業拠点を有する銀行は国際統一基準で8%以上、海外に営業拠点を持たない銀行(当行)は国内基準で4%以上を維持することが求められています。

## 格付け(※)…A+

当行は、日本格付研究所(JCR)から長期発行体格付について格付けランクの上位に位置する「A+」を取得しております。

「A」は、「債務履行の確実性は高い」と定義されており、当行の財務内容の健全性が評価されていることを示しております。

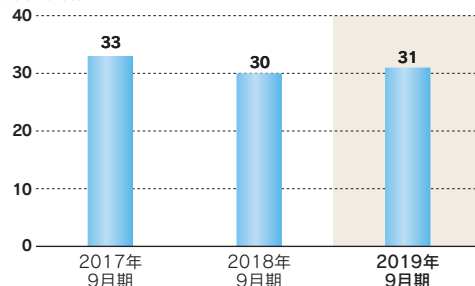
用語解説

### 【格付け】

格付けとは企業が発行する債券が「約束通りに元本および利息が支払われる確実性の程度」を利害関係のない第三者(格付け会社)が判断し、その結果を簡潔な記号にしたものです。なお、このランクが上位に位置するほど安全性が高いとされています。

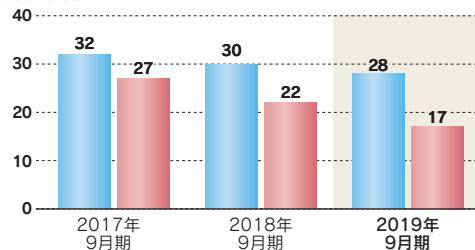
### ■ コア業務純益の推移

(単位:億円)



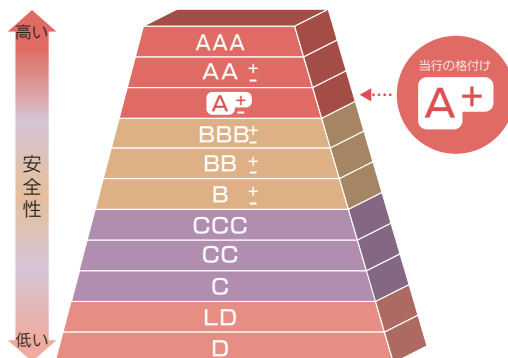
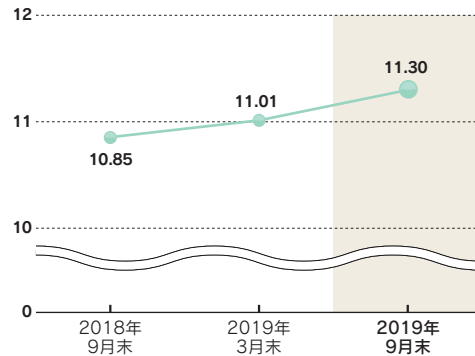
### ■ 経常利益と中間純利益の推移

(単位:億円)



### ■ 単体自己資本比率の推移

(単位:%)



## 貸出等資産の健全性

AKITA BANK REPORT 2019

## 不良債権の状況

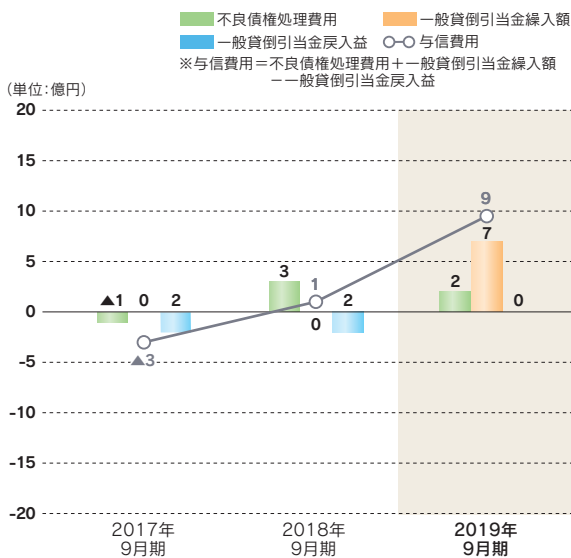
2019年9月期においては、一般貸倒引当金繰入額が増加したことから、与信費用は前年同期比8億円増加し、9億円となりました。

2019年9月末の不良債権額(金融再生法開示債権ベース)は346億円でありますが、対象債権額合計に占める不良債権比率は2.05%となり、2019年3月末に比べ

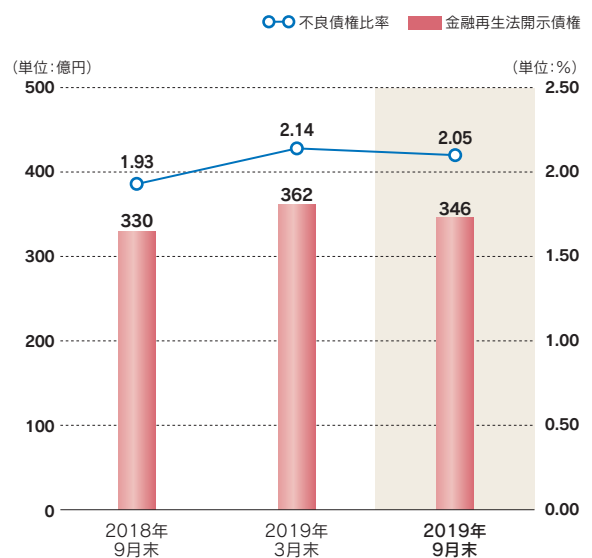
て0.09ポイント低下いたしました。

また、この不良債権が将来回収不能となった場合の備えである保全額(貸倒引当金、担保、保証)は302億円、保全率は87.20%と高く、貸出等資産の健全性維持に努めております。

## 債却・引当の状況



## 金融再生法開示債権推移



## 金融再生法開示債権の状況

2019年9月末現在

## 金融再生法開示債権に対する保全の状況

(単位: 億円)

区分	残高 (A)	保全 (B)+(C)=(D)			保全率 (%)
		担保・保証等(B)	貸倒引当金(C)	合計(D)	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権(※1)	87	27	60	87	100.00
危険債権(※2)	249	183	30	213	85.30
要管理債権(※3)	10	2	1	2	24.08
合計	346	212	91	302	87.20

注1/単位未満四捨五入 注2/保全率=(D)÷(A)×100

## 用語解説

## ※1【破産更生債権及びこれらに準ずる債権】

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申し立て等の事由により、経営破綻に陥っているお取引先に対する債権およびこれらに準ずる債権です。

## ※2【危険債権】

お取引先の財政状態および経営成績が悪化し、契約にしたがった債権の元本回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。

## ※3【要管理債権】

3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権(金利の減免や利息の支払い、元本の返済を猶予した貸出金など)です。

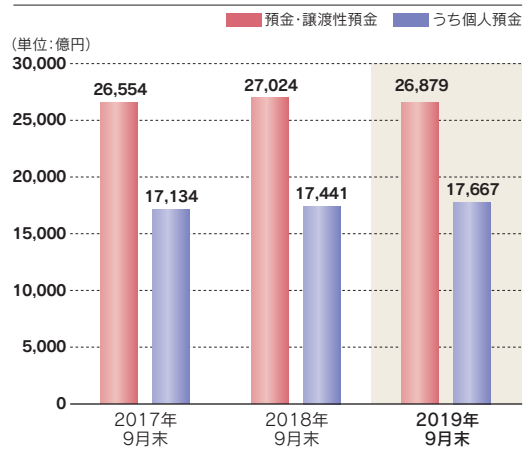
## 預金の状況

個人預金は増加したものの、法人預金および公金が減少したことにより、前年同期末比145億円減少し、2兆6,879億円となりました。

2019年9月末の預金・譲渡性預金残高に占める秋田県内残高の割合は91.1%となっております。

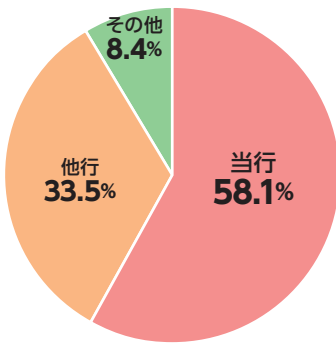
また、秋田県内における当行取引シェアは、58.1%と高い水準を維持しております。

## 預金残高



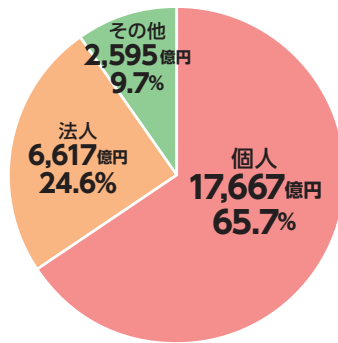
## 秋田県内シェア(金融機関別)

2019年6月末



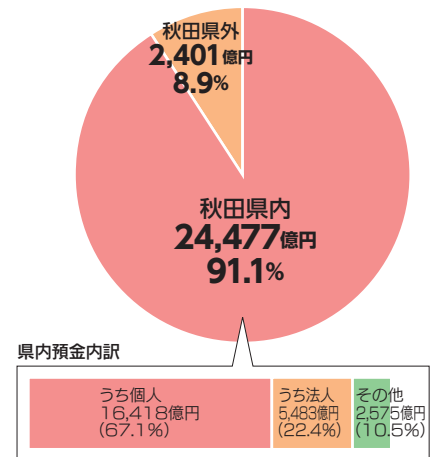
## 預金者別

2019年9月末



## 県内外別

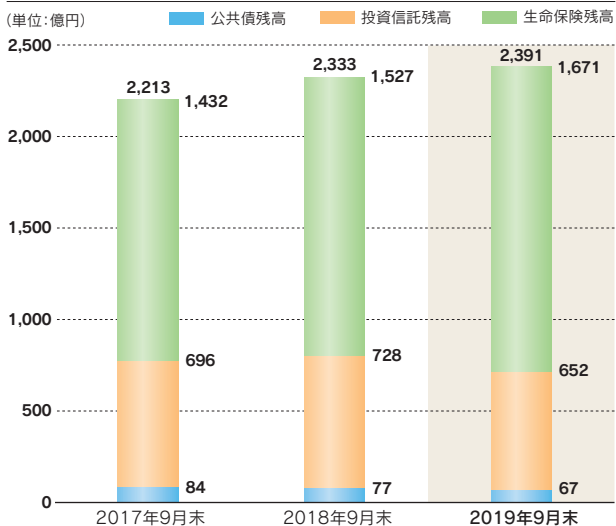
2019年9月末



●他行/都銀・地銀・第二地銀  
●その他/信用金庫・信用組合  
●譲渡性預金は含まれておりません。 [資料:預金・貸出金一覧(株)日本金融通信社]ほか]

## 預り資産<sup>(※)</sup>残高の推移

### 預り資産残高の推移



預り資産は、前年同期末比58億円増加し、2,391億円となりました。

用語解説

### 【預り資産】

公共債、投資信託、生命保険など金融商品を総称して「預り資産」と呼んでおります。また、個人年金保険、一時払終身保険を総称して「生命保険」と呼んでおります。

## 貸出金の状況

AKITA BANK REPORT 2019

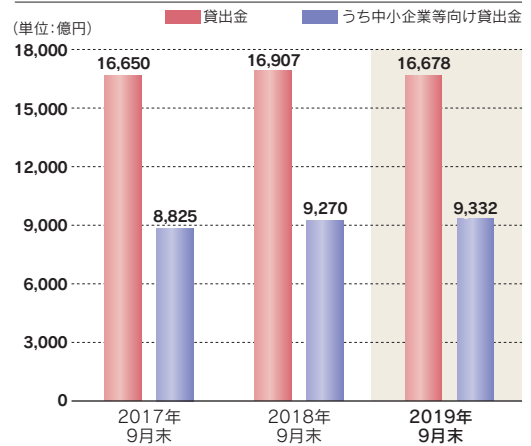
## 貸出金の状況

個人ローンは増加したものの、事業先や地公体向け貸出金が減少したことにより、前年同期末比229億円減少し、1兆6,678億円となりました。

2019年9月末における貸出金残高に占める中小企業等向け貸出金の割合は55.9%となっております。

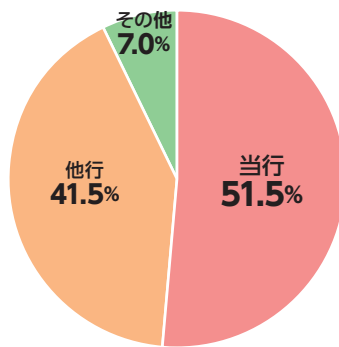
また、秋田県内における当行取引シェアは、51.5%と高い水準を維持しております。

## 貸出金残高



## 秋田県内シェア(金融機関別)

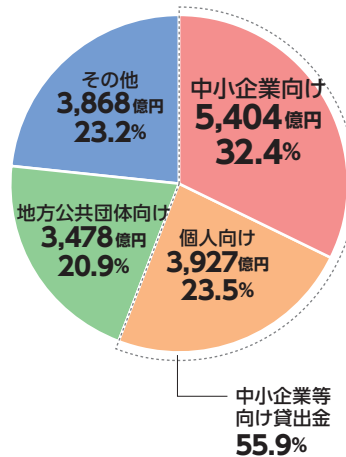
2019年6月末



●他行/都銀・地銀・第二地銀  
●その他/信用金庫・信用組合  
[資料:預金・貸出金一覧(株)日本金融通信社]ほか]

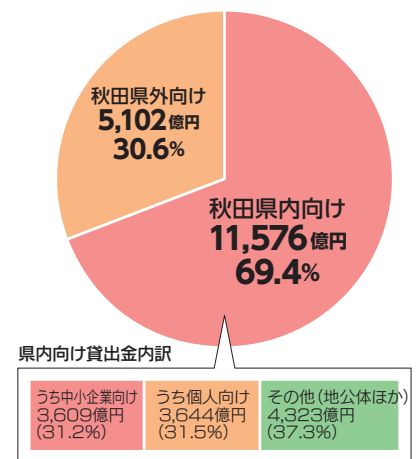
## 貸出先別

2019年9月末



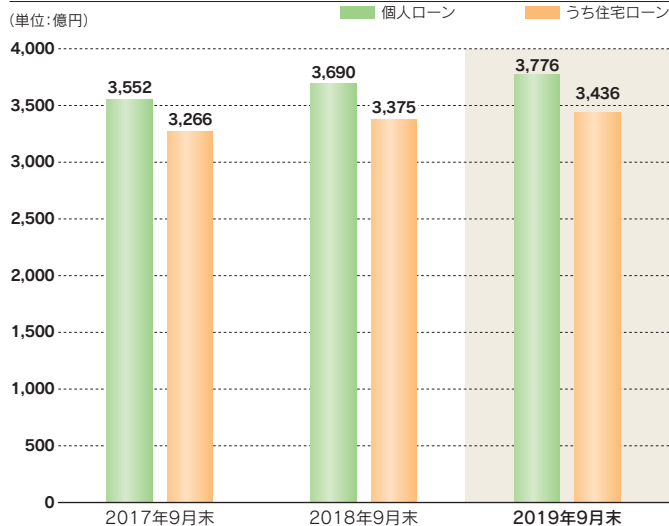
## 県内外別

2019年9月末

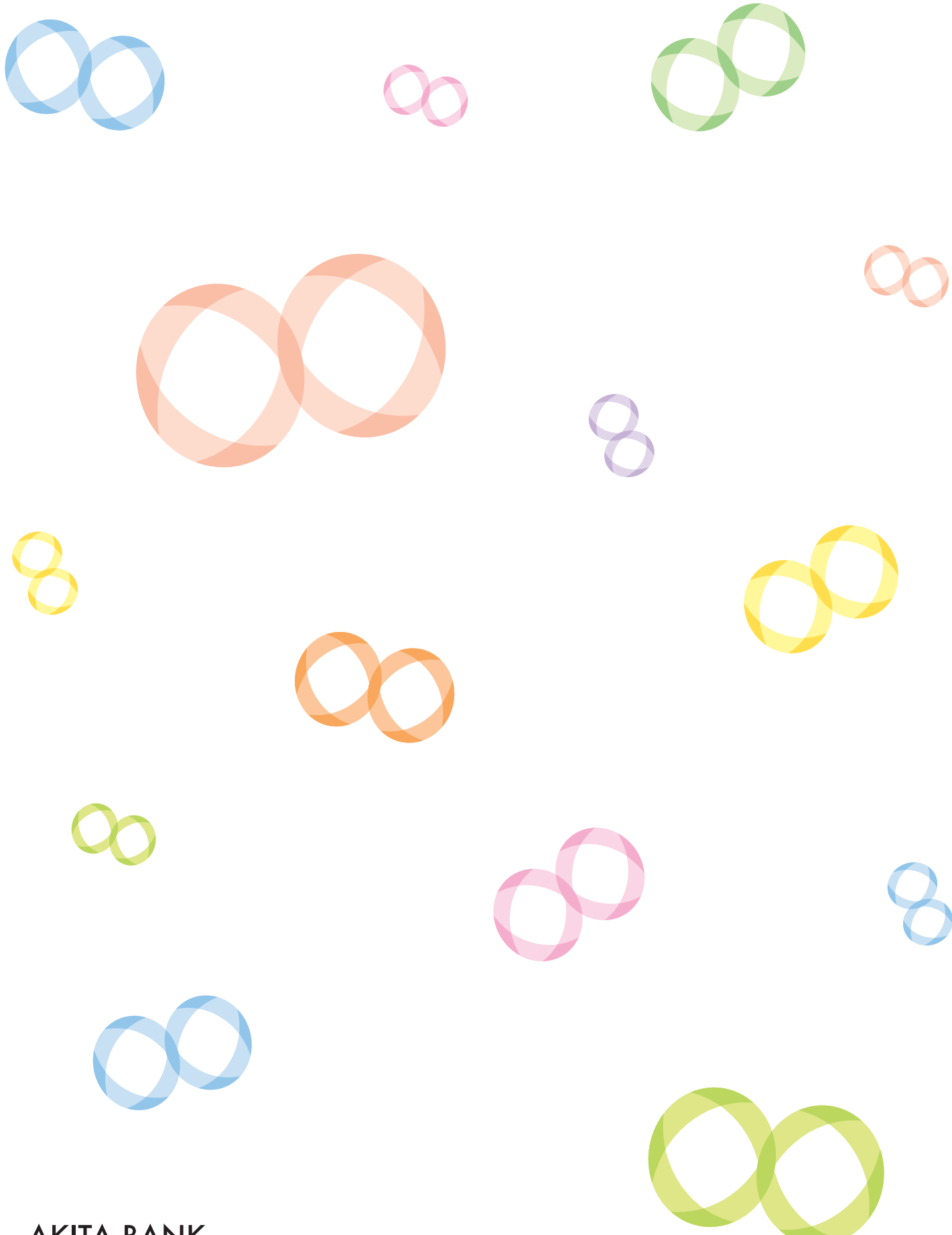


## 個人ローンの状況

## 個人ローンの推移



個人ローンは、住宅ローンが61億円増加したことを主因として、前年同期末比86億円増加し、3,776億円となりました。



# AKITA BANK REPORT 2019



AKITA BANK 2019年12月発行／秋田銀行経営企画部広報CSR室

〒010-8655 秋田市山王三丁目2番1号 TEL.018-863-1212 [e-mail koho@akita-bank.co.jp](mailto:koho@akita-bank.co.jp) [URL https://www.akita-bank.co.jp/](https://www.akita-bank.co.jp/)